

あおり

CONTENTS | 目次

特集 ▶ P2-5

人口減少克服～ポイントは、「経済を回す」～

旬を食べよう。あおり食材で簡単ヘルシークッキング/
青森さらりイッピン 私が出会った青森のイッピン ▶ P6

青森の未来に全力! 県職員最前線レポート「いいぞ! 「木」の地産地消!」/
青森県量子科学センターが10月1日に開設します! /
参加事業所募集中! 10月はスマートムーブ通勤月間 ▶ P7

申吾のほっとコラム/あおりインフォメーション ▶ P8



日本モダニズム建築の 礎を築いた前川國男

日本の近代建築の発展に大きく貢献した建築家・前川國男。弘前には前川の処女作から晩年の作品まで8つの建築物が現存していますが、今も全て現役で活用され人々の暮らしに寄り添っています。

東京帝国大学を卒業した前川は、パリのル・コルビュジエのもとで2年間建築を学びました。前川の母親は弘前出身で、留学中に交流のあったフランス大使館付武官・木村隆三も弘前出身だったことから、弘前との縁が生まれます。帰国後、木村からの依頼で設計したのが、前川の処女作となる「木村産業研究所」です。フランス製の窓、吹き抜けの天井を彩る鮮やかな赤、モザイクタイルの白とブルー。竣工から85年経った今も、色あせることのない魅力を放っています。2階の「建築家前川國男プロ博物館」には、前川作品の模型や竣工当時のパネル写真などが展示されています。

弘前には、このほか「弘前中央高等学校講堂」、「弘前市庁舎」、「弘前市民会館」、「弘前市立病院」、「弘前市立博物館」、「弘前市緑の相談所」、「弘前市斎場」という前川作品があります。写真の「弘前市民会館」は、「演劇や音楽を鑑賞した後、余韻を味わえる空間に」という前川の想いが随所に込められた作品。物語の始まりを予感させてくれる階段、2階ホールには銅管を使ったシャンデリアがきらめき、人々を優しくつなぐ空間になっています。昨年、ユネスコの世界文化遺産に登録され、弟子の前川作品にも注目が集まっている今、前川建築群を巡ってみませんか。

▼関連記事はP6で